

野帳とは

スカウトのハイキングの醍醐味の一つは、ファミリーハイキングみたいな単なる「野外散歩」とは違って、自分たちの通ったルートに「どれだけ正確に記録して報告できるか」という腕比べのゲームの面白さにある。ルートにあるものは何も見逃さない。自分たちの記録からばっちりルートを再現する地図を作れる。そのため、記録帳のことを「野帳」というんだ。

「野帳」は気象関係者などがフィールドでの観察を記録した「やちよう」と同じ言葉だけど、スカウトの世界では「野鳥」と間違えないように「のちよう」と呼ばれたりする。

ハイキングの道中、なるべく細かなことを正確に記入する必要があるけど、もたもた記入しているひまはない。だから、きちんと整理された形で、記入しやすい形でなければならず、かつその記入によく慣れておく必要がある。

**ルート上にあるものは見逃さない!
野帳パーフェクトマスター術**

「野帳」って、ボーイ隊のスカウトなら知ってるよね？ スカウトハンドブックにも出てくるけど、いまいち書き方がわからないというスカウトもいるかもしれない。ハイキング記録の要となる「野帳」の記入法をこの春のハイキングでマスターしちゃおう！

野帳のつけかた

実際の地図を見ながら、どんなふうに記入していけばいいかを見ていこう。ハンドブックには一線式と二線式の記入例があるけど、基本は同じ。ここでは二線式を例にその記入法を紹介しよう。

A: 書式

まずは書式。右上の書式はハンドブックにも紹介されている二線式の例。これでなきゃいけないというものではないので、自分たちの班でアイデアを出し合っ、より使いやすい書式を決めればよい。

パソコンの表計算ソフトなどを使って用紙を作ってもいいし、市販のノートに縦線だけを定規で引いたものでももちろんOKだ。

***	***	***	***	***	***

B: 記入方法

地図上の①のところがスタート地点。ページの一番下から記入を始める。スタートと書いた上に、進む方向の方位角(例では100度)を記入しておく。歩き始める方向にコンパスの進行線に向け、磁針の赤いほうを示す北にコンパスのリングの北をあわせるとき、進行線のところのリングの目盛が進む方向の方位角。磁北線と地図上の北との「偏差」は報告書に転記するときまとめて考慮することにしよう。

出発するとき、右側に郵便局があるので、それを右側に書いておく。

地図上の②の地点、5差路。

まず記入欄の中央に線を引いて、その下に前の記録地点(この場合は①のスタート地点)からの「歩数(例では125)」を記入する。特に歩測に慣れていないスカウトなら距離に換算してもかまわないが、「野帳」は記入のスピードも大事だから、ここは単純に歩数を書いておき、あとでまとめて換算しよう。

歩測をマスターせよ

ハイキングの記録に欠かせないのが距離の測定。スカウトができる基本的な距離の測定の一つが「歩測」だ。ハイキングなど長距離を測るときには右足、左足、と2歩を1組にして数える「複歩」のほうが便利だし、リズムを取りやすいだろう。

身体は成長などで自分の歩幅というのは少しずつ変化し、安定した歩幅で歩くにはある程度歩幅を意識して歩く習慣が必要だ。通学路の正しい距離を地図から割り出して、日々何歩で学校に着いたかなど記録してみるのも良い練習になるだろう。

道のどちら側を歩くか

例えば道幅の広い道路を横断したりしながら進むとき、そのどちらを通るかで計測する距離に差が出てしまう。道の中央が平均だと考えれば良いだろうが、車が通るような道の真ん中を歩くのは現実的ではない。そこで一つのアイデアが、角で曲がるたびに道の右側と左側を交互に通る方法だ。この工夫により、片側だけを歩くよりも平均に近い距離を計測することができる。もちろん歩行者は原則右側通行だが、野山や両側に歩道があるような大通りでは工夫したいところだ。

図に添えてある数値は方眼紙のマスを数えたものだが、左だけを歩いた水色ルート: 87マス、右だけの黄ルート: 67マスと、それぞれ中央の赤の77と10マスもの差が出てしまった。この誤差は少なくない。左右を切り替えた緑ルートは83マスで赤との差は6マス。距離が伸びれば誤差はもっと開いていくはずだが、緑ルートはより平均に近い距離を保つことができるだろう。

■ 右側を歩く
■ 右左交互に歩く
■ 中央を歩く
■ 左側を歩く

■ 77
■ 87
■ 67
■ 83

野帳パーフェクトマスターへの道

野帳はあくまでフィールドで見たり測ったりした事柄を記載しておくメモだから、野帳を元に報告書用の地図を作成できなければマスターしたとはいえない。このための練習には、必ずしもハイキングに出かけなくても、地図を見ながら野帳をつけてみたり(歩数のところは地図上で何ミリなど数値を書いておいてもいい)、書き上げた野帳を元に地図を見ないでルートを地図化してみたりするのが良いトレーニングになるだろう。

野帳を使った楽しみとして、他班が作った野帳を見ながらそのルートをトレースするハイキング、なんていうゲームも面白い練習になる。

また、野帳は経験をつむほど正確さを増していくことができるから、まだ野帳に慣れていないスカウトなどは学校への道などを下の例のように略式で記入してみる練習から始めてみるのもいいだろう。

トレース

地図化

春・夏は絶好の野外活動シーズン。班のハイキングのときには「より正確な野帳」をサブテーマにして君たちのスカウトスキルをぐんとアップしていこう！

正副	方位角 歩数	右側	時刻	記事・注意事項
	方位角 歩数	右側	7:25	三島中学校
①	方位角 歩数	右側		
②	方位角 歩数	右側		
③	方位角 歩数	右側		
④	方位角 歩数	右側		
⑤	方位角 歩数	右側		
⑥	方位角 歩数	右側		
⑦	方位角 歩数	右側		
⑧	方位角 歩数	右側		
⑨	方位角 歩数	右側		
⑩	方位角 歩数	右側		

C: 記入結果の例

地図のルートを一式書き込むと、こんな具合になる。ポイント間の間隔は特に距離に比例させる必要はなく、書き込むべきことが多いところはゆったり書き込めばよい。この記入例と地図をよく見比べてみると、大体「野帳」の書き方は理解できるだろう。

ハイキングを終えて、この野帳の記入結果から今度はルート地図を逆に作成していくことになる。

地図化

春・夏は絶好の野外活動シーズン。班のハイキングのときには「より正確な野帳」をサブテーマにして君たちのスカウトスキルをぐんとアップしていこう！